

こども計画(素案)に係る意見募集(パブリックコメント)の実施結果

1 意見募集の概要

素案の公表の方法	総社市のホームページに概要を掲載するとともに、総社市役所、各出張所で縦覧に供しました。
意見募集の期間	令和7年2月12日(水)から令和7年3月3日(月)まで
パブリックコメントの対象者	総社市内に在住か在勤、在学の人
意見の提出方法	住所、氏名、勤務先か学校名、連絡先か意見を記載し、郵送、電子メール、持参のいずれか

2 パブリックコメントの結果

意見提出者数 5人

意見提出件数 20件

ページ	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
第2章 統計からみる総社市の現状		
13	就労状況について、女性と若者のみとなっているが、男性の就労状況の掲載も必要なのではないか？	就業状況の問題については、非正規雇用や障がい者雇用の問題などさまざまありますが、女性の就業率と潜在的労働力率の差が大きいことや育児と仕事の両立が難しいこと、若者については、仕事へのストレスが大きいことや会社の将来性・安定性に期待がもてず失業率が高いことなどから、本計画では女性と若者に焦点を当てた状況を取り上げています。
第3章 アンケート結果等による総社市の現状と課題		
29	「人間関係が希薄する」という表現はわかりにくいのではないかと？	ご意見のとおり「人間関係が希薄化する」に修正します。
42	「病児・病後児保育施設利用した」という表現はわかりにくいのではないかと？	ご意見のとおり「病児・病後児保育施設を利用した」に修正します。
47	ふたり親世帯の経済状況も決して良くないが、母親だけ取り上げるのはなぜか？	ご意見いただいた状況もありますが、ひとり親家庭の母親が貧困に陥る要因が多く、経済的支援策の充実が求められているため、今回の計画に取り上げているところです。
第5章 計画の基本理念と方向性		
62	「児童虐待ゼロ」と表現すると、表にでないように虐待件数を減らしたり、事件の隠蔽をしたりするのではないかと？	本市における「児童虐待ゼロ」とは、各関係機関が連携し、全世代見守り体制のなかで、児童の未然防止と虐待のあった親や家庭への支援を図るものであり、数値目標とは異とするものとしています。

第6章 基本目標ごとの取組		
64	地域に支えられ続けられている, こどもの居場所として「放課後子ども教室」が記載されていないのはなぜか？	放課後子ども教室については, 開設していない小学校区が多いことから記載していませんでしたが, こどもにとって重要な居場所であることから, 引き続き, 充実を図る取り組みとして支援してまいります。
	子ども食堂について, 場の提供だけではなく, こども自身が調理できる機会を作り生活力の向上ができないだろうか？	ご意見ありがとうございます。子ども食堂は, 主に経済的支援と地域での交流機会の提供を目的として各団体で実施しています。本意見につきましては, 各団体への周知等を図ってまいります。
69	発達に課題や障がいのあるこども・若者への支援の推進について, LD のこどもへの理解, 配慮の項目を入れてほしい。	ご意見ありがとうございます。本計画では, LD を含めたあらゆる発達障がいのあるこども・若者に対する理解, 配慮が必要と考えているため, 総合的な支援の充実を図る取り組みを項目としています。
70	いじめの未然防止としての取り組みを強化してほしい。	ご意見を踏まえ, 地域, 関係機関と連携して, 市及び学校におけるいじめ防止対策を充実してまいります。
77	女性の復職や再就職支援における考え方はどうか？	アルバイトやパートの人に対する産休・育休制度は進んでおりませんが, 離職後の復職や再就職がしやすいように, さまざまな取り組みを検討していこうとするものです。
80	「青少年の非行・被害防止」よりも「青少年の健全育成」の表記の方がよいのではないか？	ご意見のとおり「青少年の健全育成」の表記に修正します。
第7章 量の見込みと確保方策		
82	「勘案して設定した」という文体は, 他と異なるのではないか？	ご意見のとおり「勘案して設定しました」に修正します。
82	区域を市全域とする場合, 図表にする意味が少ないのではないか？	教育・保育提供区域の設定につきましては, 子ども・子育て支援法における前計画との比較のために図表としています。
92	「妊婦・その配偶者に対して」という表現では, 未婚や事実婚などの多様性に欠けるのではないか？	ご意見のとおり, 多様性に対応できるような表記に修正します。
その他		
	<ul style="list-style-type: none"> ・急速に進む少子化に対応できるような「総社市こども計画」を進める必要がある。 ・低出生体重児で出生すると, 小児期の数多くの合併症や疾患の原因となり, 医療的ケア児や発達障がいの割合も高率になるため, 低出生体重児にならないよう, 女児・女性の健康状態・生活状況の改善を行い, 低出生体重児の割合を減少させる必要がある。 	貴重なご意見ありがとうございます。いただきましたご意見を踏まえ, 今後の施策に取り組んでまいります。

<ul style="list-style-type: none">・教育, 保育及び医療機関の担い手の高齢化や減少により, 従来の制度で成り立たなくなっている, 市独自で保育・養育, 母子保健, 母子医療, 母子福祉を進めていく必要がある。・地域のこどもに関わる多職種が協働し, 子どもと思春期, 青年期, 子育て世代の心理面と社会的なサポートの指標を改善・充実する必要がある。・小学校高学年から高校生の保育所実習などの取り組みはできないだろうか。・祭り, 町内運動会など地域活動に興味のある児童がいるので, 地域の事業を実施する協議会などに参画したい児童を募りたい。	
--	--